



2010年8月10日

農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する 日本の業界統一 GAP

JGAP 穀物 最新版の開発に向けて 改善案を募集

日本 GAP 協会（理事長：木内博一）は、最新版の JGAP 穀物の基準「JGAP 穀物 2010」を策定するために、現行版である「JGAP 穀物 第 2.1 版」に対する意見や改善案を募集しております。

どなたでも意見を寄せることができますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

「JGAP 穀物 第 2.1 版」に対する意見募集 専用ホームページ

http://jgap.jp/tech_comm/kokumotsu.html

締め切り：第一次 8 月 18 日(水) 第二次 8 月 31 日 (火)

JGAP 穀物は、2005 年 7 月に JGAP 第 1 版が発表されました。2006 年 4 月 1 日に第 2 版に改定され、2008 年 3 月 1 日に第 2.1 版にマイナーチェンジが行われました。JGAP 穀物 2010 の開発は 4 年ぶりの本格的な基準改定となります。

2006 年 1 月に JA 山形おきたま飯豊美米倶楽部の農場が第 1 号の JGAP 認証農場となりました。その後、JGAP 穀物の認証農場数は、2008 年 3 月：26 農場、2009 年 3 月：84 農場、2010 年 3 月：123 農場と推移しています。

改定作業を掌る日本 GAP 協会 技術委員会 穀物部会のメンバーは次の通りです。

| | | |
|------------|------|-----------------------------------|
| 穀物部会 委員 | 佐藤智浩 | JA 山形おきたま 生産販売部米穀課/JGAP 指導員 |
| | 千葉丈 | 個人としての参加 現:全農いわて営農技術課/JGAP 指導員 |
| | 樋口恭子 | 新潟県長岡地域振興局 農林振興部普及指導員/JGAP 指導員 |
| | 坂野勝則 | (株)ミツハシ 精米事業本部精米販売部/JGAP 審査員補 |

----- 特定非営利活動法人（NPO 法人）日本 GAP 協会 -----

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29 日本農業研究所 4 階

TEL: 03-5215-1112 / FAX:03-5215-1113

NEWS RELEASE

| | | |
|--|------|---|
| | 田村浩至 | (株)ダイエー ((株)消費経済研究所) 品質管理センター 食品担当チーフテクノロジスト |
| | 福永庸明 | イオン(株) イオンアグリ創造株式会社 取締役本部長 |

(2010年7月末現在)

次回の技術委員会 穀物部会は2010年8月18日に開催されます。
JGAP 穀物2010は、今年度中の完成を目指しています。

- * 日本GAP協会は、日本における本格的なGAP (Good Agricultural Practice) の普及を推進している民間非営利団体です。農業界と流通業界が共同で運営しております。
- * JGAPとは、生産段階における農産物の安全確保等を目的とした農業生産工程管理手法です。青果物・穀物(コメ等)・日本緑茶(荒茶)の生産農場用のものがあります。

| | | |
|---|------|-----|
| 窓口担当者 武田/横溝 Tel 03-5215-1112 Fax 03-5215-1113 | | |
| (FAX 頂ければ回答致します) | | |
| <input type="checkbox"/> 取材希望 | | |
| 御社名 | 部署名 | 御名前 |
| _____ | | |
| 住所 | 電話番号 | |
| _____ | | |